NIDWR Nagoya Infectious Diseases Weekly Report

2026 年第 45 週（11 月 2 日～11 月 8 日）

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律

感染症発生動向調査

名古屋市感染症発生動向調査情報

名古屋市感染症情報センター（名古屋市衛生研究所疫学情報部）

2026 年（令和 8 年）11 月 11 日作成

https://www.city.nagoya.jp/kenkofukushi/eisei/1015269/1015388/index.html

◆本市の状況

〔定点把握感染症の発生動向〕

インフルエンザの定点当たり患者報告数は 8.32 と前週比 1.1 倍でした。

強化サーベイランス（アジア・アジアパラ競技大会）

◆強化サーベイランスとは（実施期間：2026 年 9 月 1 日～2026 年 11 月 7 日）

第 20 回アジア競技大会・第 5 回アジアパラ競技大会（以下「大会」という。）の開催前後は、国内外から多数の選手・観客が訪れ、感染症リスクが高まるおそれがあります。

そこで、世界的な流行状況、輸入例増加の可能性、感染拡大の懸念や重症度を勘案し、注意すべき感染症として 4 疾患（**麻しん、侵襲性髄膜炎菌感染症、中東呼吸器症候群（MERS）、腸管出血性大腸菌感染症**）を「強化サーベイランス対象疾患」に位置づけ、大会に係る情報を週報として取りまとめています。

◆強化サーベイランス対象疾患の発生状況

第 45 週（11 月 2 日～11 月 8 日）の強化サーベイランス対象の 4 疾患（麻しん、侵襲性髄膜炎菌感染症、中東呼吸器症候群（MERS）、腸管出血性大腸菌感染症）における大会選手等関係者や来場者の報告は 0 件でした。

対象疾患別の累計患者一覧は下記のリンク先(名古屋市衛生研究所ホームページの中のコンテンツ)

https://www.city.nagoya.jp/kenkofukushi/eisei/1015269/1015388/1051978/1051999.html をご覧ください。

◆１類～５類全数把握の発生状況

〔１類～５類全数把握感染症の届出〕

診断週	感染症の分類	疾病名	発生数	発生の概要
2026 年 第 45 週	２類	結核	10	男性、78 歳、右結核性胸膜炎 男性、21 歳、結核性胸膜炎 女性、91 歳、肺結核 男性、29 歳、肺結核 女性、0 歳、無症状病原体保有者 女性、67 歳、無症状病原体保有者 男性、56 歳、無症状病原体保有者 女性、22 歳、無症状病原体保有者 男性、52 歳、無症状病原体保有者 男性、68 歳、無症状病原体保有者
2026 年 第 45 週	４類	レジオネラ症	4	女性、77 歳、肺炎型、感染地域：名古屋市 男性、64 歳、肺炎型、感染地域：国内 男性、61 歳、肺炎型、感染地域：和歌山県 男性、51 歳、肺炎型、感染地域：名古屋市
2026 年 第 45 週	５類	ジアルジア症	1	男性、46 歳、感染地域：国内
2026 年 第 45 週	５類	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	男性、85 歳、菌検出検体：血液
2026 年 第 45 週	５類	侵襲性肺炎球菌感染症	3	女性、76 歳、菌検出検体：血液 女性、36 歳、菌検出検体：血液 男性、66 歳、菌検出検体：血液

2026 年 第 45 週	5 類	梅毒	9	男性、50 歳、早期顕症梅毒 1 期 男性、19 歳、早期顕症梅毒 1 期 女性、19 歳、早期顕症梅毒 1 期 男性、25 歳、早期顕症梅毒 1 期 男性、24 歳、早期顕症梅毒 1 期 男性、25 歳、早期顕症梅毒 1 期 男性、49 歳、早期顕症梅毒 1 期 男性、61 歳、早期顕症梅毒 2 期 男性、61 歳、無症状病原体保有者

※　感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを表示。

（報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります）

報告日が遅れたため先週号までに掲載されなかった 1 類から 5 類全数報告感染症。

診断週	感染症の分類	疾病名	発生数	発生の概要
2026 年 第 44 週	2 類	結核	2	女性、93 歳、皮膚結核 女性、35 歳、肺結核
2026 年 第 44 週	5 類	百日咳	1	男性、3 歳、検査方法：抗体の検出、感染地域：名古屋市
2026 年 第 42 週	5 類	梅毒	2	男性、47 歳、早期顕症梅毒 1 期 男性、34 歳、早期顕症梅毒 1 期

※　感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを表示。

（報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります）

〔2026 年 1 類～5 類全数把握感染症の届出報告数の累計〕

感染症の分類	疾病名	累計
1 類感染症	エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、他	0
2 類感染症	急性灰白髄炎	0
2 類感染症	結核（潜在性結核感染症を含む）	423(146)
2 類感染症	ジフテリア	0
2 類感染症	重症急性呼吸器症候群（病原体がコロナウイルス属 SARS コロナウイルスであるものに限る）	0
2 類感染症	中東呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属 MERS コロナウイルスであるものに限る）	0
2 類感染症	鳥インフルエンザ（H5N1）	0

2 類感染症	鳥インフルエンザ（H7N9）	0
3 類感染症	コレラ	0
3 類感染症	細菌性赤痢	1(1)
3 類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	77(15)
3 類感染症	腸チフス	2
3 類感染症	パラチフス	1
4 類感染症	E 型肝炎	2
4 類感染症	A 型肝炎	6
4 類感染症	デング熱	7
4 類感染症	日本紅斑熱	4
4 類感染症	マラリア	3
4 類感染症	レジオネラ症	52(1)
5 類感染症	アメーバ赤痢	14
5 類感染症	ウイルス性肝炎	2
5 類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	18【1】
5 類感染症	急性脳炎（ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く）	7
5 類感染症	クロイツフェルト・ヤコブ病	3
5 類感染症	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	26
5 類感染症	後天性免疫不全症候群（ＨＩＶ感染症を含む）	38(30)
5 類感染症	ジアルジア症	2
5 類感染症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	10
5 類感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	2
5 類感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	56
5 類感染症	水痘（入院例に限る）	10
5 類感染症	多剤耐性緑膿菌感染症	8
5 類感染症	梅毒	492(116)
5 類感染症	播種性クリプトコックス症	4
5 類感染症	破傷風	3
5 類感染症	百日咳	75
5 類感染症	麻しん	5

累計は 2026 年第１週からの診断週による累計、（　）内は無症状病原体保有者累計患者数を再掲、【　】内は感染症死亡者の死体数を再掲。対象疾病が多いため、４類及び５類感染症は報告のあった疾病のみを掲載。（報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります）

〔愛知県麻しん・風しん患者調査事業について〕

平成 20 年 1 月 1 日から、麻しん・風しんは全数把握対象となりましたが、愛知県内では、感染症法に基づく届出では把握できない情報を得るため、医師会と協力して「愛知県麻しん・風しん患者調査事業」を実施しており、名古屋市も参加しています。

調査結果については下記のリンク先(愛知県衛生研究所ホームページの中のコンテンツ)

https://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/msl/msl.html をご覧ください。

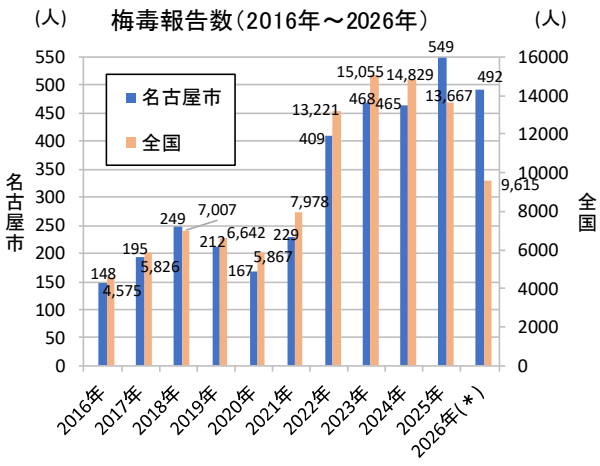
〔定点医療機関からの情報〕

定点医療機関からは検査結果や患者発生状況等がコメント情報として報告されています。定点医療機関から報告されたコメント情報は下記のとおりです。なお、コメント情報のなかった定点医療機関については掲載しておりません。

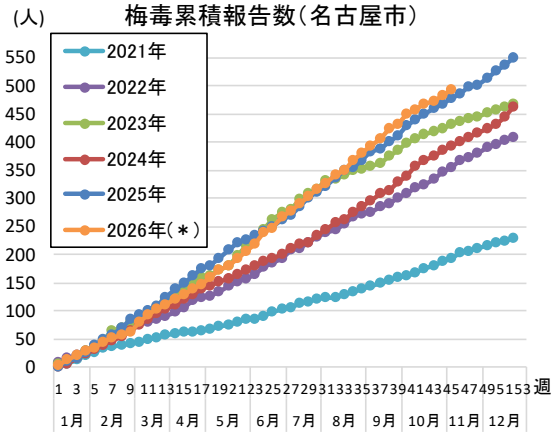
インフルエンザは全て A 型	定点医療機関（千種区）
インフルエンザは全て A 型	定点医療機関（西区）
インフルエンザ A 型：13 名 インフルエンザ B 型：0 名	定点医療機関（中村区）
インフルエンザ A 型：25 名 インフルエンザ B 型：0 名	定点医療機関（昭和区）
インフルエンザは全て A 型	定点医療機関（昭和区）
急性呼吸器感染症 （男性：114 名、女性：103 名）計 217 名	定点医療機関（南区）
小さな子の RS ウイルス感染症が多いです。	定点医療機関（南区）
インフルエンザは横ばい	定点医療機関（名東区）
マイコプラズマ肺炎：1 名	定点医療機関（名東区）

〔名古屋市の梅毒報告数〕

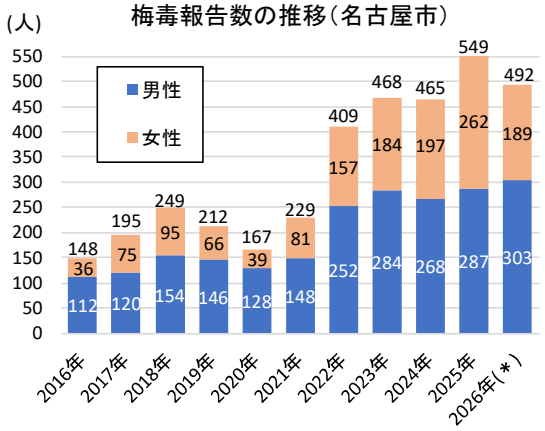
- 本市における梅毒の 2026 年第 1 週から第 45 週までの累積報告数は 492 人です。近年、梅毒の報告数が全国的に増加しており、本市における 2025 年の報告数は過去最多の 549 人でした。（「梅毒累積報告数（名古屋市）」を参照）
- 梅毒は、梅毒トレポネーマという病原体による感染症で、感染経路は感染部位と粘膜や皮膚との直接接触（性的接触）です。
- 梅毒の症状は、時間の経過とともに局所から全身に広がっていきます。症状が一時的に消失しても治療を行わないと病気は進行します。また、感染しても症状が現れない場合や治っても再度感染することがあります。
- 妊婦が梅毒に感染すると、胎盤を通して胎児も感染し、死産や早産、先天梅毒を起こす可能性があります。
- 梅毒の治療には抗生物質が用いられます。



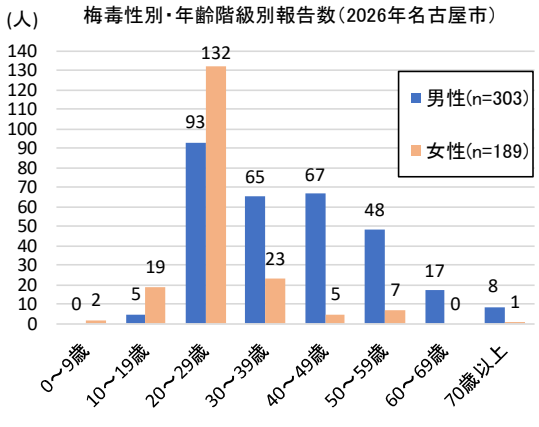
＊2026年は名古屋市は第45週、全国は第44週まで



＊2026年は第45週まで



＊2026年は第45週まで

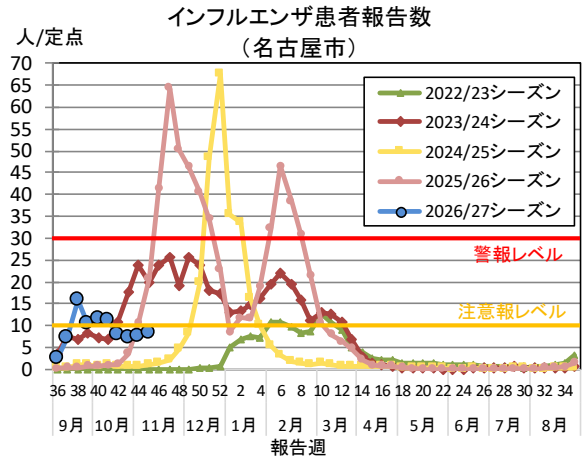


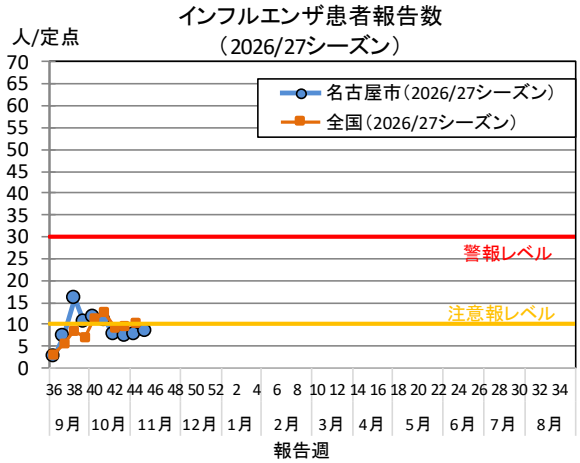
注）第45週まで

〔トピックス：インフルエンザ（2026/27 シーズン）〕

- 本市における 2026 年第 45 週（11 月 2 日～11 月 8 日）の市内 50 定点からのインフルエンザ患者報告数は、416 人と前週比 1.1 倍でした。定点当たり患者報告数は 8.32 です。
- 2026/2027 シーズンの集団かぜ（インフルエンザ様疾患）において、名古屋市衛生研究所で実施した PCR 検査の結果、インフルエンザウイルスのうち A/H1pdm09 ウイルス遺伝子が検出されました。
- インフルエンザは、インフルエンザウイルスを病原体とする急性の呼吸器感染症です。主な感染経路は、感染した人の咳やくしゃみによる飛沫感染と病原体に汚染された物等を介した接触感染があります。
- 感染後、1 日から 3 日程度の潜伏期間を経て、発熱（38℃以上）、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感等が出現し、咳、鼻水等の上気道炎症状が現れます。いわゆる「かぜ」に比べて全身症状が強いのが特徴です。
- 高齢者や乳幼児などは重症化することがあるので、特に注意が必要です。
- インフルエンザの治療には抗ウイルス薬が用いられます。
- インフルエンザの重症化予防にはワクチン接種が有効です。

〔名古屋市のインフルエンザ患者報告数：2026 年 11 月 11 日作成〕



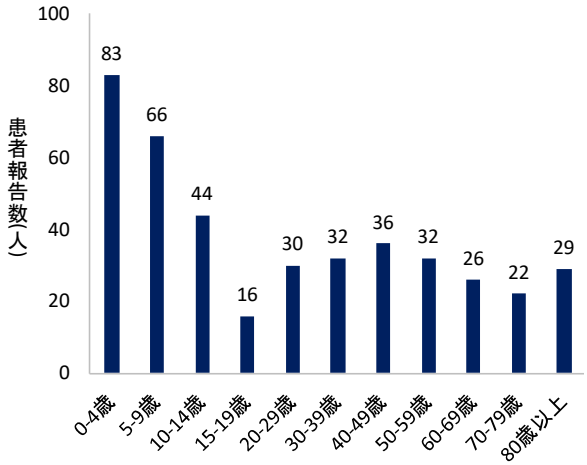


定点当たり患者報告数の推移

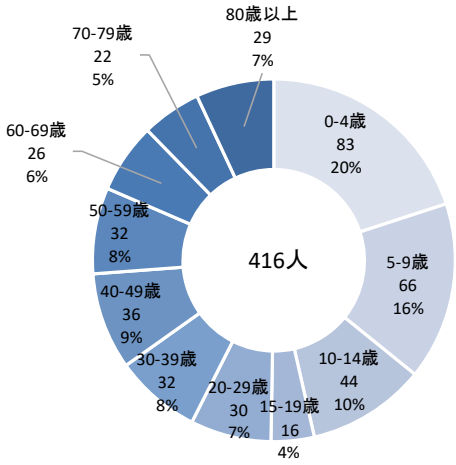
	第38週（9/14～9/20）	第39週（9/21～9/27）	第40週（9/28～10/4）	第41週（10/5～10/11）	第42週（10/12～10/18）	第43週（10/19～10/25）	第44週（10/26～11/1）	第45週（11/2～11/8）
名古屋市（2026/27）	16.02 [801]	10.54 [527]	11.46 [573]	11.04 [552]	7.74 [387]	7.34 [367]	7.72 [386]	8.32 [416]
愛知県	15.12	12.33	11.88	11.47	7.83	8.66	10.63	–
全国	8.48	7.17	11.35	12.81	9.08	9.49	10.26	–
名古屋市（昨シーズン）	0.50	0.70	0.72	0.98	1.10	3.68	10.54	20.86

※「1」を超えると流行入り、「10」を超えると注意報、「30」を超えると警報の基準
※患者報告数は各週公表時における速報値
※[ ]内は名古屋市内50定点からの患者報告数
※2025年4月7日（第15週）から急性呼吸器感染症（ARI）サーベイランスが開始されるとともに定点医療機関数が変更されました。
第15週以降は変更後の定点医療機関数を使用して図表を作成しています。

定点からのインフルエンザの
年齢階級別患者報告数（2026年第45週）



年齢階級別患者報告数（2026年第45週）の割合



〔インフルエンザ関連リンク〕

- インフルエンザ情報（名古屋市）

  https://www.city.nagoya.jp/kenkofukushi/eisei/1015269/1015388/1034411/1015408.html

- インフルエンザ（総合ページ）（厚生労働省）

  https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou/infulenza/index.html

- インフルエンザウイルス分離・検出速報（国立健康危機管理研究機構）

  https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/iasr/data/reported-number-of-influenza-virus-isolation-and-detections/index.html



NIDWR Nagoya Infectious Diseases Weekly Report

◆2026 年第 45 週　患者報告数（疾病区別）、定点当たり患者報告数（疾病区別）、年齢階級別患者報告数（疾病別）、患者報告数および定点当たり患者報告数の推移（疾病別）

患者報告数（名古屋市）

2026年第45週（2026年11月2日～11月8日）

	疾病名/区	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	計	前週比	過去比※
☆	インフルエンザ	23	15	12	48	22	2	36	8	10	58	23	54	32	32	36	5	416	1.1	0.6
☆	新型コロナウイルス感染症（COVID-19）	3	2	1	4	2	1	1	3		8	1	1	1	2	2		32	1.1	0.3
○	RSウイルス感染症	3	2	3	2	4			1		2		5		1	4	1	28	0.8	5.7
○	咽頭結膜熱		2								4				1		1	8	1.6	0.3
○	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1	1	1	5	1					1	1			4	9		24	1.3	0.6
○	感染性胃腸炎	3		4	3	6	6	2			6	1	3	9	22	7	3	75	0.8	1.1
○	水痘	2		15		1					1		1	1		3		24	4.0	6.9
○	手足口病	2			2		1							2	1	1		9	0.6	0.6
○	伝染性紅斑	1																1		0.2
○	突発性発しん			1	3								1		1	1		7	1.0	3.0
○	ヘルパンギーナ	1			7									1				9	0.8	8.1
○	流行性耳下腺炎																	0		
△	急性出血性結膜炎																	0		
△	流行性角結膜炎	2							1									3	0.6	0.0
◇	細菌性髄膜炎																	0		
◇	無菌性髄膜炎							1										1		
◇	マイコプラズマ肺炎			1				3			2							6	0.5	0.0
◇	クラミジア肺炎																	0		
◇	感染性胃腸炎（ロタウイルスに限る）																	0		
☆	急性呼吸器感染症（ARI）	141	293	285	628	98	44	30	11	48	299	69	300	254	217	352	90	3159	1.1	
	計	182	315	323	702	134	54	73	24	58	381	95	365	300	281	415	100	3802		

※過去3年の同週の定点当たり患者報告数平均値との比

※新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は過去2年の同週との比

☆	急性呼吸器感染症定点数	4	2	4	4	3	2	2	2	2	4	3	3	4	4	3	4	50
○	小児科定点数	3	1	2	2	2	1	1	1	1	3	2	2	2	4	2	2	31
△	眼科定点数	1		1	1	1		1	1	1			1		1	1	1	11
◇	基幹定点数			1				1			1							3

☆○△◇は定点種別を示す。　　のセルは、該当疾病の定点医療機関のない区を示す。

※2025年4月7日（第15週）から急性呼吸器感染症（ARI）サーベイランスが開始されるとともに定点医療機関数が変更されました。

定点当たり患者報告数、および流行警報・注意報発生状況（名古屋市）

2026年第45週（2026年11月2日～11月8日）

	疾病名/区	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	平均
	インフルエンザ	5.75	7.50	3.00	12.00	7.33	1.00	18.00	4.00	5.00	14.50	7.67	18.00	8.00	8.00	12.00	1.25	8.32
*	新型コロナウイルス感染症（COVID-19）																	0.64
	RSウイルス感染症	1.00	2.00	1.50	1.00	2.00			1.00		0.67		2.50		0.25	2.00	0.50	0.90
	咽頭結膜熱		2.00								1.33				0.25		0.50	0.26
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.33	1.00	0.50	2.50	0.50					0.33	0.50			1.00	4.50		0.77
	感染性胃腸炎	1.00		2.00	1.50	3.00	6.00	2.00			2.00	0.50	1.50	4.50	5.50	3.50	1.50	2.42
	水痘	0.67		7.50		0.50					0.33		0.50	0.50		1.50		0.77
	手足口病	0.67			1.00		1.00							1.00	0.25	0.50		0.29
	伝染性紅斑	0.33																0.03
	突発性発しん			0.50	1.50								0.50		0.25	0.50		0.23
	ヘルパンギーナ	0.33			3.50									0.50				0.29
	流行性耳下腺炎																	
	急性出血性結膜炎																	
	流行性角結膜炎	2.00							1.00									0.27
	急性呼吸器感染症（ARI）	35.25	146.50	71.25	157.00	32.67	22.00	15.00	5.50	24.00	74.75	23.00	100.00	63.50	54.25	117.33	22.50	63.18

警報対象疾病	流行発生警報 開始基準値	流行発生警報 終息基準値	流行発生注意報 基準値
インフルエンザ	30	10	10
新型コロナウイルス感染症（COVID-19）	−	−	−
RSウイルス感染症	−	−	−
咽頭結膜熱	3	1	−
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	−
感染性胃腸炎	20	12	−
水痘	2	1	1
手足口病	5	2	−
伝染性紅斑	2	1	−
突発性発しん	−	−	−
ヘルパンギーナ	6	2	−
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	−
流行性角結膜炎	8	4	−
急性呼吸器感染症（ARI）	−	−	−

流行警報・注意報について

■ **太字の数字** は流行発生警報

■ *斜体の数字* は流行発生注意報

■ 警報及び注意報の発生は、厚生労働省の感染症発生動向調査における警報発生システムの基準値（左表）に準拠しています。なお基準値は、変更される場合や当センターの判断で、独自の設定に変更する場合があります。

■ この警報及び注意報は、感染症発生動向調査に関わる専門家の対策立案を支援するためのものです。詳しい目的、利用法等については当情報センターにご連絡ください。

＊新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の区別定点当たり患者報告数は計上しておりません。

年齢階級別患者報告数（名古屋市）

2026年第45週（2026年11月2日～11月8日）

疾病名/年齢階級	0～5ヵ月	6～11ヵ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳以上	計
インフルエンザ	5	3	14	18	23	20	15	13	8	16	14	44	16	30	32	36	32	26	22	29	416
新型コロナウイルス感染症（COVID-19）			2	3			2	1			1	2	3	2	2	1	1	1	3	8	32

疾病名/年齢階級	0～5ヵ月	6～11ヵ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20歳以上	計
RSウイルス感染症	1	3	11	5	3	3	1	1							28
咽頭結膜熱		1	1		2	2			1			1			8
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎				3		4	1	3	5	3	3	2			24
感染性胃腸炎	2	4	10	7	3	5	4	3	3	6	2	11	2	13	75
水痘			1		1					1		4	15	2	24
手足口病			2	2		1			1	2				1	9
伝染性紅斑					1										1
突発性発しん		3	3	1											7
ヘルパンギーナ			2		1	1	2	2		1					9
流行性耳下腺炎															0

疾病名/年齢階級	0～5ヵ月	6～11ヵ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70歳以上	計
急性出血性結膜炎																				0
流行性角結膜炎															2		1			3

疾病名/年齢階級	0歳	1～4	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70歳以上	計
細菌性髄膜炎																	0
無菌性髄膜炎					1												1
マイコプラズマ肺炎		3	2						1								6
クラミジア肺炎																	0
感染性胃腸炎（ロタウイルスに限る）																	0

疾病名/年齢階級	0歳	1～4	5～9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳以上	計
急性呼吸器感染症（ARI）	134	972	596	285	158	167	211	159	167	119	92	99	3159

患者報告数および定点当たり患者報告数の推移（名古屋市）

疾病名/調査週		第36週 (8/31～9/6)	第37週 (9/7～9/13)	第38週 (9/14～9/20)	第39週 (9/21～9/27)	第40週 (9/28～10/4)	第41週 (10/5～10/11)	第42週 (10/12～10/18)	第43週 (10/19～10/25)	第44週 (10/26～11/1)	第45週 (11/2～11/8)
インフルエンザ	患者報告数	120	365	801	527	573	552	387	367	386	416
	定点当たり患者報告数	2.40	7.30	16.02	10.54	11.46	11.04	7.74	7.34	7.72	8.32
新型コロナウイルス感染症（COVID-19）	患者報告数	100	116	126	86	72	57	45	32	30	32
	定点当たり患者報告数	2.00	2.32	2.52	1.72	1.44	1.14	0.90	0.64	0.60	0.64
RSウイルス感染症	患者報告数	10	5	27	15	24	55	24	30	33	28
	定点当たり患者報告数	0.32	0.16	0.87	0.48	0.77	1.77	0.77	0.97	1.06	0.90
咽頭結膜熱	患者報告数	4	4	4	4	7	5	5	13	5	8
	定点当たり患者報告数	0.13	0.13	0.13	0.13	0.23	0.16	0.16	0.42	0.16	0.26
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	患者報告数	15	22	16	12	21	20	24	17	19	24
	定点当たり患者報告数	0.48	0.71	0.52	0.39	0.68	0.65	0.77	0.55	0.61	0.77
感染性胃腸炎	患者報告数	71	64	79	53	71	78	58	66	95	75
	定点当たり患者報告数	2.29	2.06	2.55	1.71	2.29	2.52	1.87	2.13	3.06	2.42
水痘	患者報告数	2	4	1	10	7	3	3	6	6	24
	定点当たり患者報告数	0.06	0.13	0.03	0.32	0.23	0.10	0.10	0.19	0.19	0.77
手足口病	患者報告数	59	56	32	27	32	21	9	15	14	9
	定点当たり患者報告数	1.90	1.81	1.03	0.87	1.03	0.68	0.29	0.48	0.45	0.29
伝染性紅斑	患者報告数	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	定点当たり患者報告数	0	0	0	0	0	0.03	0	0	0	0.03
突発性発しん	患者報告数	6	8	6	1	7	8	5	9	7	7
	定点当たり患者報告数	0.19	0.26	0.19	0.03	0.23	0.26	0.16	0.29	0.23	0.23
ヘルパンギーナ	患者報告数	27	41	45	8	27	43	18	16	11	9
	定点当たり患者報告数	0.87	1.32	1.45	0.26	0.87	1.39	0.58	0.52	0.35	0.29
流行性耳下腺炎	患者報告数	0	0	1	0	3	0	2	0	6	0
	定点当たり患者報告数	0	0	0.03	0	0.10	0	0.06	0	0.19	0
急性出血性結膜炎	患者報告数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	定点当たり患者報告数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	患者報告数	1	6	2	2	1	1	2	0	5	3
	定点当たり患者報告数	0.09	0.55	0.18	0.18	0.09	0.09	0.18	0	0.45	0.27
細菌性髄膜炎	患者報告数	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0
	定点当たり患者報告数	0	0	0	0	0	0	0	0.33	0.33	0
無菌性髄膜炎	患者報告数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	定点当たり患者報告数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.33
マイコプラズマ肺炎	患者報告数	10	15	8	10	14	12	12	16	12	6
	定点当たり患者報告数	3.33	5.00	2.67	3.33	4.67	4.00	4.00	5.33	4.00	2.00
クラミジア肺炎	患者報告数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	定点当たり患者報告数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染性胃腸炎（ロタウイルスに限る）	患者報告数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	定点当たり患者報告数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
急性呼吸器感染症（ARI）	患者報告数	2322	2647	3317	2142	3049	3319	2704	2909	2943	3159
	定点当たり患者報告数	46.44	52.94	66.34	42.84	60.98	66.38	54.08	58.18	58.86	63.18

（患者報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります）

◆入院サーベイランス

基幹定点医療機関（市内３医療機関：北区、昭和区、中川区）より、インフルエンザ及び新型コロナウイルス感染症（COVID-19）による入院患者の発生状況が毎週報告されています。

年齢階級別入院患者報告数（2026年第45週（2026年11月2日～11月8日））

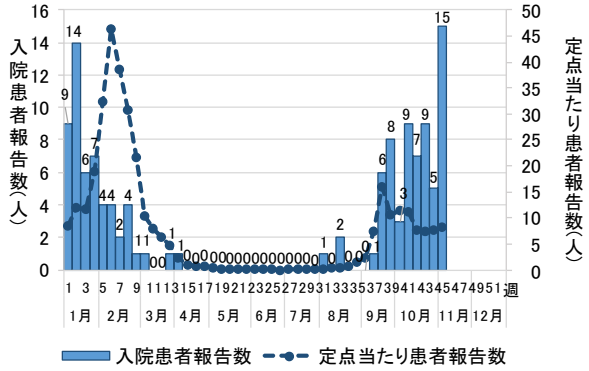
疾病名/年齢階級	0歳	1～4	5～9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳以上	計
インフルエンザ	0	5	0	0	0	0	1	0	0	1	3	5	15
新型コロナウイルス感染症（COVID-19）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

年齢階級別入院患者報告数（2026年累積）

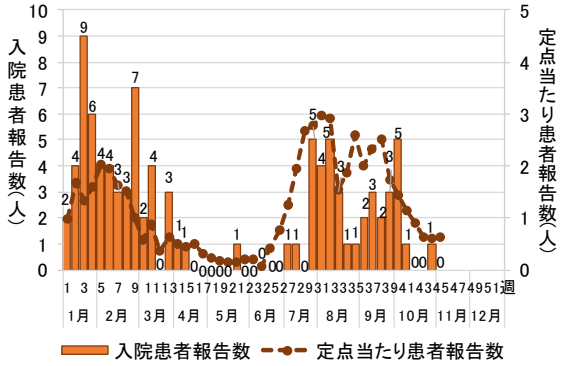
疾病名/年齢階級	0歳	1～4	5～9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳以上	計
インフルエンザ	4	21	7	5	2	5	3	0	3	9	20	41	120
新型コロナウイルス感染症（COVID-19）	7	3	3	2	0	0	2	0	1	6	36	32	92

入院患者報告数および定点当たり患者報告数の推移（2026年）

インフルエンザ

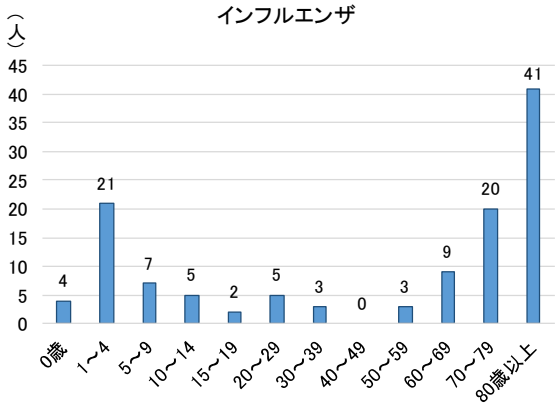


新型コロナウイルス感染症（COVID-19）

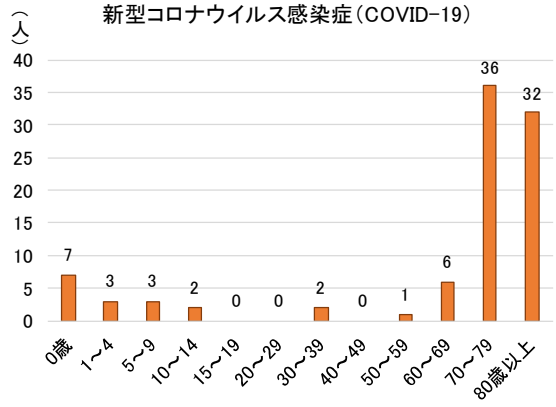


年齢階級別入院患者報告数（2026年累積）

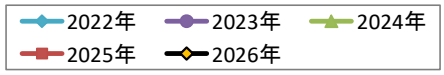
インフルエンザ

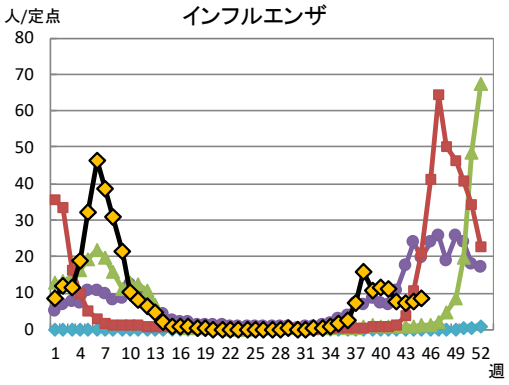


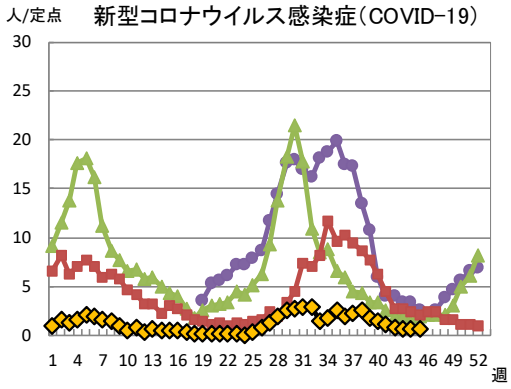
新型コロナウイルス感染症（COVID-19）

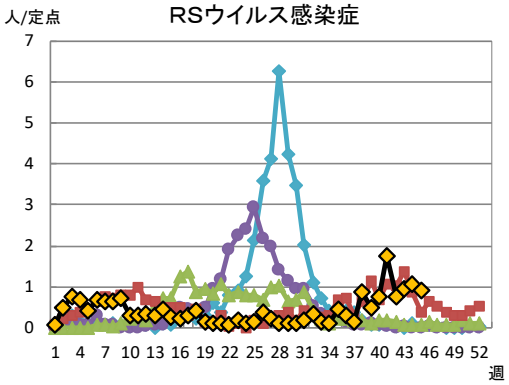


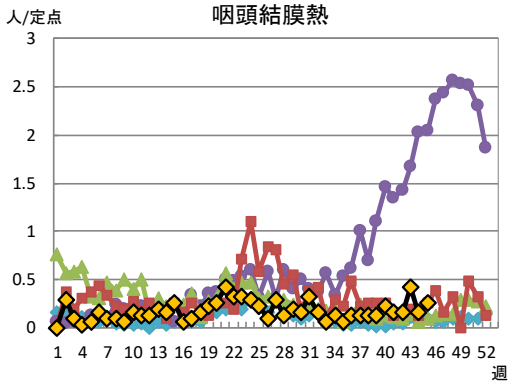
◆急性呼吸器感染症定点・小児科定点・眼科定点・基幹定点医療機関からの
定点当たり患者報告数の推移グラフ(1)　2026年第45週まで

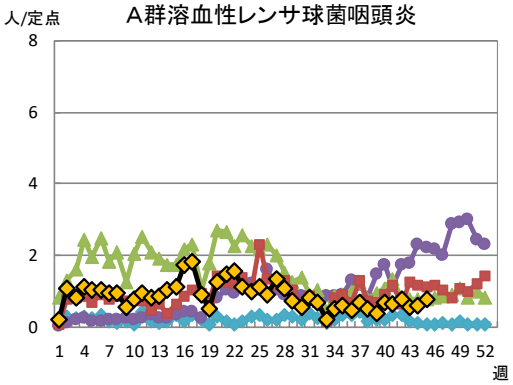


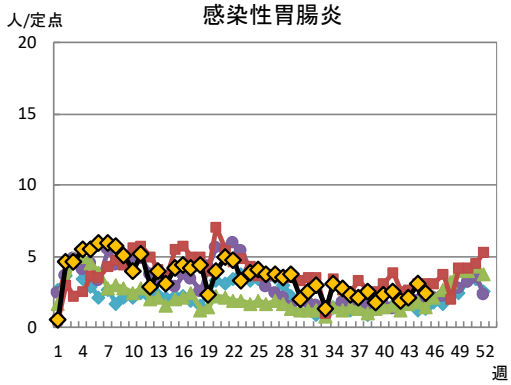


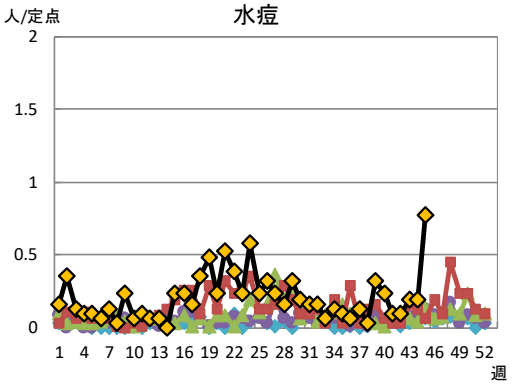


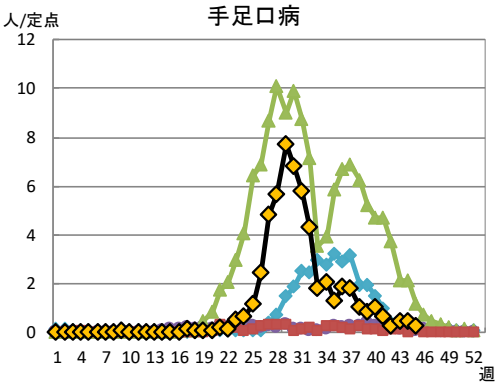




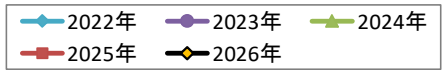


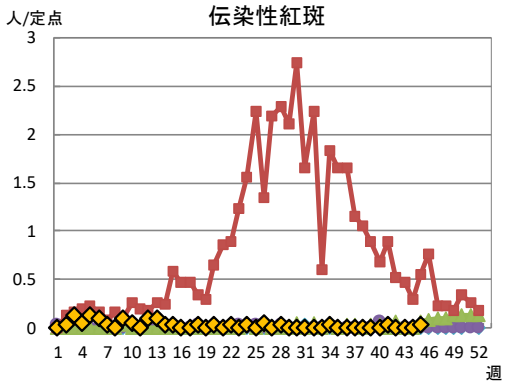


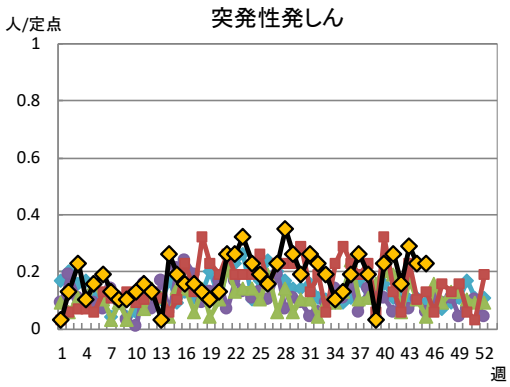


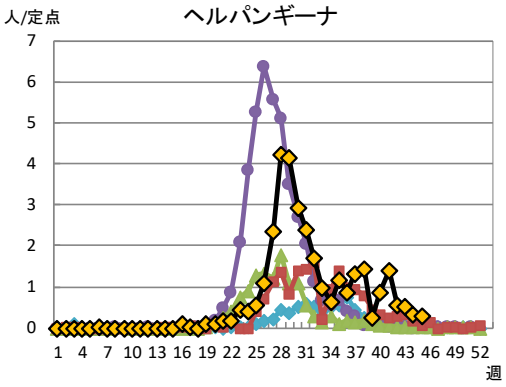


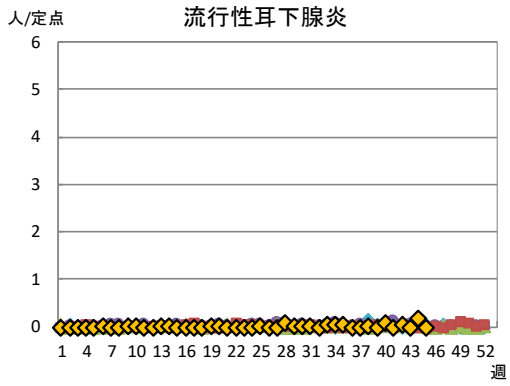
◆急性呼吸器感染症定点・小児科定点・眼科定点・基幹定点医療機関からの
定点当たり患者報告数の推移グラフ(2)　2026年第45週まで

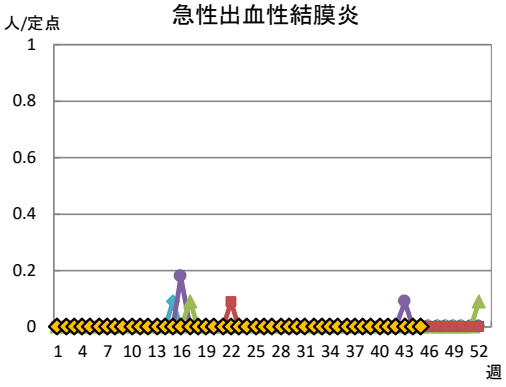


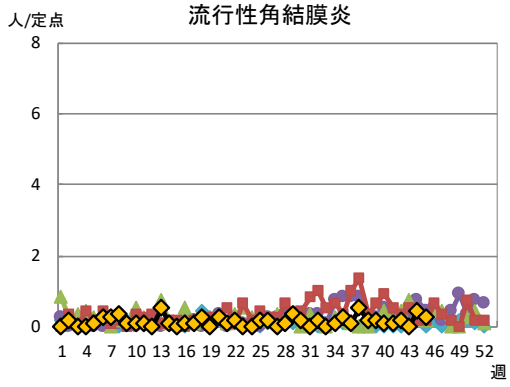


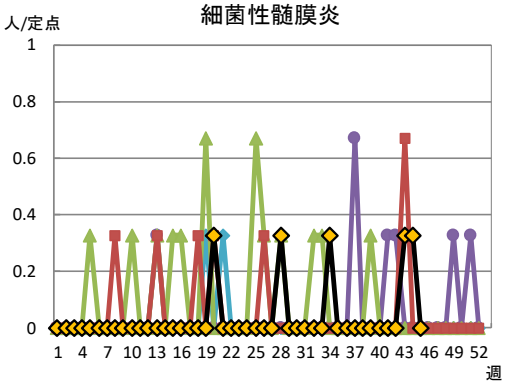


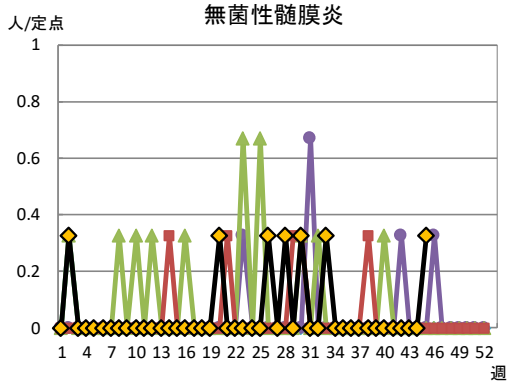




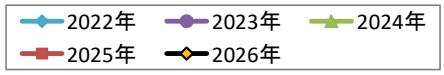


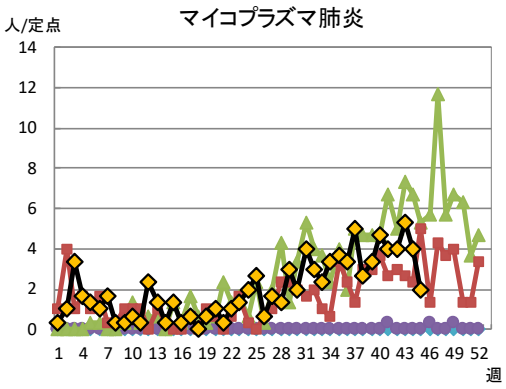


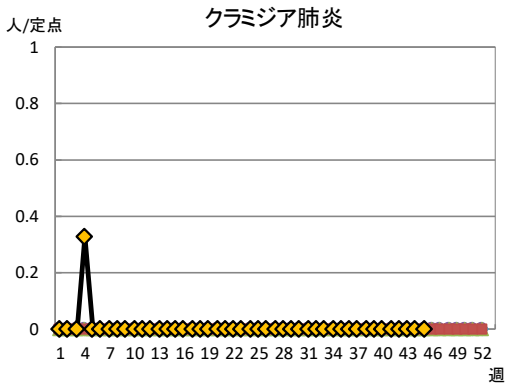


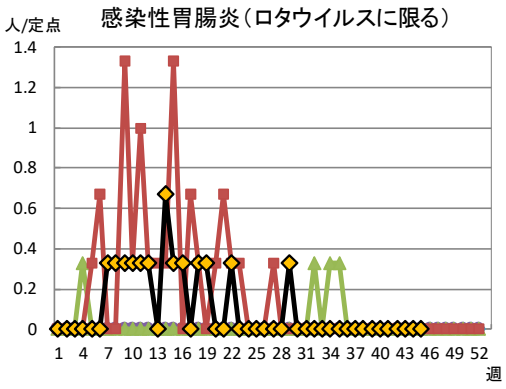


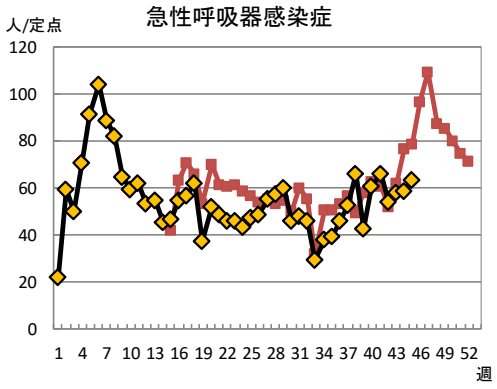
◆急性呼吸器感染症定点・小児科定点・眼科定点・基幹定点医療機関からの
定点当たり患者報告数の推移グラフ(3)　2026年第45週まで











※2025年4月7日(第15週)から急性呼吸器感染症(ARI)サーベイランスが開始されるとともに定点医療機関数が
変更されました。第15週以降は変更後の定点医療機関数を使用して図表を作成しています。